

ふれあい

2011

月号
No.224

企画・編集・発行

社会福祉法人 (市民社協) 武蔵野市民社会福祉協議会
TEL: 0422-23-0701 FAX: 0422-23-1180
Eメール: shimin@shakyou.or.jp

(VCM) ボランティアセンター武蔵野
TEL: 0422-23-1170 FAX: 0422-23-1180
Eメール: vcm@shakyou.or.jp

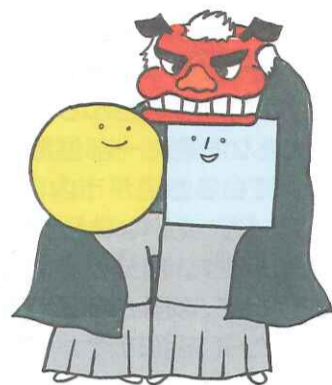
http://www.shakyou.or.jp/

所在地
〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町4-10-10
大東京信用組合ビル3階

市民社協とは? 社会福祉法に基づき、地域福祉を推進する非営利福祉団体です。みなさまからの会費・ご寄付などにより、高齢者・子ども・障がい者・経済的に困りの方のための事業、地域の助け合い活動などを通じて、ささえあいのまちづくりを進めています。



地域の縁側 “居場所”の実践とこれからの地域福祉



市民社協キャラクターあいあい

ご近所同士が気軽集える地域の縁側のような「居場所」づくりの取り組みが市内で始まっています。大野田福祉の会の「ひびのさんち」の取り組みにスポットを当て、武蔵野市での居場所づくりやこれからの地域福祉について活発な意見を交わしました。

日常を支え合う「居場所」

市長: 新年明けましておめでとうございます。この「ふれあいの居場所・ひびのさんち」(以下「ひびのさんち」)がある吉祥寺北町は、私の生まれ育った町、よく遊んだフィールドで、懐かしいですね。本日は、みなさんといろいろなお話ができるのを楽しみにしています。

会長: 市民社協では、武蔵野大学熊田准教授に策定委員長をお願いし、2009年8月に「中期計画」(※1)を策定しました。「中期計画」では、新たな事業展開として、住民・団体支援の強化を図る「地域連携支援事業(仮称)」を記載し、その中の「居場所づくりの推進」として、大野田福祉の会(※2)の「ひびのさんち」をモデルケースとして取り上げさせていただきました。

熊田: 「中期計画」には、地域福祉コーディネーターの強化と居場所づくりの2つの大きな柱があります。地域福祉コーディネーターとは、対象者別に分かれた従前の対応ではサービスにつながらない方、どこに相談に行けばいいのか分からない方に手を差し伸べる専門職です。一方、このような専門職の配置と共に、住民の方の生活や取り組みを支えていく基盤として、この「ひびのさんち」のような「居場所」が必要になってくるのが掲げられています。



▲「ふれあいの居場所・ひびのさんち」を会場に座談会を行いました

安藤: 市民社協が地域に出てきてくれるというのは、活動する側にとっては身近に相談相手がいるということ。日常的に同じ感覚で話し合えるのは、とても大事なことだと思います。市と住民をつなぐ役割はとても重要で、地域福祉コーディネーターに地域に常駐してもらえないかと思うくらいです。「ひびのさんち」は、毎週火曜にやっていて、「来たい時に来て、帰りたいときに

帰れるよ」と、年間延1,000人近くの方々に来ていただいています。

大きなお家もつたいない!

安藤: このまちは、今までの20年間のけやきコミュニティセンターの活動が積み重なってご近所の立ち話が復活するなど、まち全体の雰囲気があたたかくなったと感じていました。まちをもっとよくするには、「次は居場所だ!」と思ったんです。「ひびのさんち」がオープンする2年くらい前から、大野田福祉の会では「居場所プロジェクト」というグループを作って、どういう「居場所」がいいのか、毎月話し合いを重ねてきました。話し合いで何度も出たのは、「おしゃべり」と「安

心」、そして「おしゃべりをしたい・聞きたい」ということ。実際に始めようとなると、空き家はあってもそこまでの話には至らない。そんなとき、20数年前のコミュニティセンター建設活動で一緒だった日比野さんが、同じようなお考えをお持ちと聞きましてね。



▲ 2007年9月 居場所プロジェクトで他市の居場所を見学

日比野: 地域の「居場所」というのは、突然思いついたのではなく、長い人生の中で、いろいろな影響を受けて思っていたことなんです。子どものころから狭い家にはいつも近所の人や子どもたちが来ていて、人の出入りも、人のために何かしてあげるといっても何の抵抗もなく育ちました。武蔵野市でも、お一人で住んでいる方が多くいますね。(2面に続く)

- ※1 市民社協の運営方針や具体的な事業方針を示した2009~2012年度を期間とした計画
- ※2 市内13地区(およそ小学校区)で地域の福祉課題を協議・対応し、助け合い活動をすすめる住民組織「地域社協」の内の一つ
- ※3 本特集は、敬称略にさせていただきます



▲「ひびのさんち」は手作り看板が目印

「ふれあいの居場所・ひびのさんち」とは?

地域の人たちが「誰でも」「いつでも」「気軽に」足を運べる“地域の縁側”を作りたいと大野田福祉の会が2007年から検討を重ね、2009年4月にオープンした「居場所」。家主の日比野さんと共につくっています。

日時: 毎週火曜 11:00~15:00 場所: 吉祥寺北町4-10-31



七福 やさい食堂
食を通して、ハッピーになれるカフェレストラン
*吉祥寺北町4-12-20 武蔵野福祉作業所内 ☎0422-52-7828
*OPEN 11:00-16:00 ランチタイム14:30まで [定休日] 土日祝